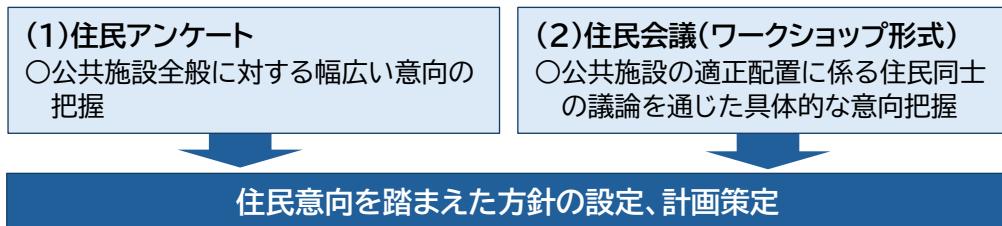


住民意向の把握について

- ・公共施設マネジメントにおいて、多様な属性を有する住民の意見を反映するとともに、住民との合意形成を図ることが重要である。そのために、住民自らが公共施設に関する課題を認識し、行政と協働して課題解決に向けた検討を行うことが求められる。
- ・このような観点から、住民意向の把握については、公共施設に対する幅広いニーズを収集するための「住民アンケート」と、施設の適正な配置に関する具体的な方向性を検討する「住民会議」の2つの手法により実施する。
- ・これらの住民意向の把握を踏まえ、公共施設の適正配置に関する基本的な考え方や方針を整理し、計画の策定を行うものである。



(1) 住民アンケートの実施について

- ・公共施設の利用状況や満足度に加え、適正配置を検討する上での条件や考慮すべき点についても意見を伺うものである。また、前回調査との比較を通じて、住民ニーズの変化を把握し、今後の計画に的確に反映させることを目的とする。

■実施概要

対象	無作為抽出による市民 2,000 人
手法	郵送による発送・回収 (WEB回答も併用) 一部 WEB にて実施 (市 HP や市公式 LINE にて公開を想定)
スケジュール	配布 : 9月下旬 回収 : 10月中旬 (回収期間 2 週間程度) 集計・分析 : 10月～11月

■設問構成 ※資料4の調査票案を参照

設問案	意図
属性（年齢、住まい等）	・回答者の属性別に応じたニーズの違いを把握し、地域特性等に応じた計画策定に資する情報を収集
公共施設の現状・課題の認知度	・市民の認識を把握
公共施設の利用の有無・頻度	・施設の利用傾向やニーズの現状を把握 ・利用しない人は理由を伺う
複合化・多機能化について	・適正配置の条件や考え方を伺い、方向性の検討に資する情報を収集
跡地活用等	・施設の再編に伴う跡地や空き施設の活用に関する住民意向を把握

(2) 住民会議（ワークショップ）の実施について

- ・住民が主体的に公共施設の適正配置について検討する場として開催し、施設に関する具体的なニーズや配置に関するアイデア等、具体的な住民の意向を把握することを目的とする。
- ・会議の開催にあたっては、同一内容を2地区に分けて行い、できるだけ多くの方から意見を集める。住民会議では施策等を決定するのではなく、適正配置の方向性等について具体的な意見やアイデアを広く収集する目的で実施する。
- ・参加者の募集にあたっては、施設の利用者をはじめ、まちづくりや建築分野に関心をもつ学生（例えば「いづみおおつ若者会議」委員等）、主体的に関わろうと意欲のある層に対して積極的にアプローチを行う。
- ・会議の進行および記録においては、グラフィックレコーディングの手法を活用し、参加者の意見やアイデアをその場で視覚的に整理・共有することで、参加者が発言しやすい環境づくりと議論の活性化を図る。
- ・住民会議終了後は、内容をとりまとめたニュースレターを作成し、公共施設への配架するほか、市広報誌や市公式LINE等を活用した情報発信を行い、市民の理解促進および意識醸成につなげていく。

■実施概要

時期	2025年11～12月のいずれか土日
場所	南・北公民館（同一内容を2地区に分けて実施）
定員	20名程度（5名×4テーブル）
手法	ワークショップ形式 (テーブルに分かれて、テーマごとに意見やアイデアを出し合う)
スケジュール	参加者募集：10月 実施：11～12月 とりまとめ：終了後～2月

■議題案

議題案	意図
公共施設の良いところ、悪いところ、改善点について	利用者の具体的なニーズを把握
再編の予定がある施設について、どのような機能が欲しいか	適正配置の方向性について、具体的な意見やアイデアを収集